

何よりも平和を！

市民の暮らし第一の市政、いまこそ！

ウクライナなどに続いてパレスチナ・ガザ地区でも戦争が起きてしまいました。罪のない子どもたちまで巻き込んだ戦争は絶対許せません。一刻も早くこの地球上から戦争を無くしたいものです。

私たちが住んでいるこの日本には戦争

放棄をうたった憲法があります。核兵器を廃絶し、平和を守る政治をみんなで力を合わせ、実現しましょう。

いま、私たちの暮らしは、アメリカいなりで、戦争に「備える」政策の下、物価高騰などにより、深刻な状態が広

がっています。こうしたときこそ、市政は市民に寄り添い、暮らし第一の政治にしなければなりません。中川市政のいいところは応援し、悪いところは厳しく批判し、対案を出して頑張ります。引き続きよろしくお願いたします。

市、温浴施設の民営化を強く打ち出す

市は12月22日の総務常任委員会で、吉川ゆったりの郷など引き続き協議となっている6つの日帰り・宿泊温浴施設について、民営化を強く打ち出した方針を示しました。

6施設のうち柿崎マリンホテルハマナス、板倉やすらぎ荘、吉川ゆったりの郷など4施設は、4月にスタートしたネクストリゾート上越(株)が指定管理者になったばかり。こんなことでいいのかの声が上がっています。詳細は次号で続報します。



ほっとホットコンサートでの吉中吹奏楽部



【サザンカ】キツバキ科の常緑広葉樹です。漢字で「山茶花」と書きます。大川栄策の「さざんかの宿」を聞いてサザンカに注目するようになりました。葉は楕円形で、ツバキよりも小さい。花期は10～12月です。写真の花はピンク色。ピンク色のサザンカの花言葉は「永遠の愛」です。写真は12月25日、吉川区代石にて撮影しました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2140 2024.1.7

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3628

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第七八七回 気をつけてね

十歳年上の従姉(いとこ)である「鳥越のかちや」が入所している特別養護老人ホームを訪ねたのは月曜日のことでした。

特別養護老人ホームに入所する前はグループホームに入所していて、新型コロナウイルス感染症の流行の時期と重なっていったこともあり、私が「鳥越のかちや」に会ったのは四年ぶりです。

一階のロビーに展示してある渡辺幸雄さんの絵や入所者のアルバムを見て、五分くらい経ったころだったでしょうか、車椅子に乗せてもらった「鳥越のかちや」が二階からやってきました。

「かちや、久しぶりだねー」と声をかけながらそばに行くと、「鳥越のかちや」の顔が少しゆるみました。ピンク色の長袖シャツとオレンジ色の前掛けがとても似合います。髪はきれいにすいてあって真っ白、とても素敵でした。

「おまん、おれ、誰だかわかるかねー。タ イシのノリカズだよ」と言うと、「はい」と答えたものの、いまひとつ、はつきりしません。「見たことがある」程度の反応だったのです。

その反応が大きく変わったのは私の母の 写真を見せたときです。スマートフォン の画面で青色の半纏を着た笑顔の母を見た途 端、「鳥越のかちや」はニコニコ顔になっ たのです。写真は五年前の十二月に撮影し たもので、母の顔は「おまん、どうした が」と問いかけている感じでした。

長年、わが家の母を自分の母親のように 大切にしてくれた「鳥越のかちや」は、毎 日のようにわが家に電話をかけ、「ばあ ちゃん、どうしてるね」と母に声をかけて くれていました。たびたび、わが家にも やってきました。おそらく母と一緒に時 間は私以上だったと思います。それだけに母 のことは頭の中にしっかりと残っているの でしょうね。「鳥越のかちや」の笑顔はと

てもうれしく思いました。

スマートフォンの中の母の姿を見た「鳥 越のかちや」は私に向かって、「立ってい るか」と訊(き)いてきました。一瞬、 どういう意味かと思ったのですが、母が 立っているのか、座っているのか写真では 判断できなかったのだと思います。

それで私は、母の別の写真をさがしまし た。ところが、どういうわけか、最初の写 真と似たようなものしか出てきませんでし た。着ていた半纏も同じ色のもの、その下 の薄いピンク色のシャツも同じだったの です。「鳥越のかちや」は新たな反応を見せ ませんでした。

そうしたときに介護スタッフのNさんが 私たちのところにやってきて、声をかけて くださいました。「祭りのときに(町田 の)Kさんと会ってくださったよかったですね」と言われたので、「そうなんです。K さんとはいろいろつながってまして……。 こちらは従姉なんですよ。私らの母親が姉 妹で、二人とも母親似だから、どっか似て いるでしょ」と言っただけで並びました。

Nさんからは、日曜日に新聞折り込みし ている「春よ来い」をKさんや「鳥越のか ちや」に見てもらっていると教えていただ きました。少しでも喜んでもらいたい、元 気になってもらいたいというスタッフの皆 さん方の心配りです。感謝ですね。

この日は突然の訪問にもかかわらず、十 五分ほど面会させてもらいました。「鳥越 のかちや」は母の写真には大きく反応した ものの、私には「いまいち」でした。でも 玄関ドアの近くで、「またね」と私が別れ の挨拶したとき、「鳥越のかちや」の口か ら思いがけない言葉が出てきたのです。 「気をつけてね」。たったひと言ですが、 私が誰かわかっていなければ出てこない言 葉です。私は大きく手を振ってバイバイを しました。

2023年、私が選んだ10大ニュース

- ①新潟県議選で馬場秀幸弁護士当選(4月)



- ⑥温浴4施設経営の新会社発足(4月)



- ⑦市議会、柏崎刈羽原発の構内での防災訓練を初めて視察(11月)

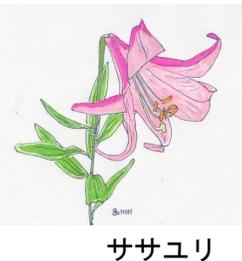
- ⑧原子力防災訓練、柏崎市から「避難民」(11月)

- ⑨活動レポート、2100号に到達(3月)

- ⑩10冊目のエッセイ集『花嫁行列』出版(7月)



花嫁行列
橋爪法一
著者の10冊目のエッセイ集
読むと心があたたかくなります



ササユリ

- ②異常高温、少雨で農産物などに大きな被害(8月)

- ③リフレ山里振興(株)の不正受給発覚(1月)

- ④3月時から春先除雪への支援実現(3月)



- ⑤市内小学校で給食アレルギー事故(9月)

ニュースフラッシュ

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	12月20日(水)	12月25日(月)
上越南消防署	0.047	0.053
上越北消防署	0.043	0.033
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.063	0.063
東頸消防署	0.040	0.040
名立分遣所	0.053	0.057
高士分遣所	0.053	0.053